

レジメン番号	0617	レジメン名	G-Benda 分割法 初回サイクル
登録診療科	血液内科	使用薬剤	ガザイバ、トレアキシシ
がん腫	濾胞性リンパ腫	インターバル日数	28 日

【投与量・投与スケジュール】

薬品名 投与量/体表面積	投与方法	患者 投与量	Day1 (/)	Day2 (/)	Day3 (/)	Day 8 (/)	Day 15 (/)	…Day28
ガザイバ 1000 mg/body	点滴	1000mg	↓			↓	↓	4 週間を 1 コース
トレアキシシ(Benda) 90 mg/m ²	点滴	mg		↓	↓			
(支持療法)								
パロノセトロン 0.75mg/body	点滴	0.75mg		↑				4 週間を 1 コース
デキサート 16.5mg/body(day1) 6.6mg/body(day2.3)	点滴	6.6mg	↑ (16.5mg)	↑ (6.6mg)	↑ (6.6mg)			

【当日の投与方法】

薬品名	規格	希釈液/量	投与速度/方法
①トレアキシシ	100mg	生食 250ml (40ml の注射用水で溶解)	60 分/点滴
②ガザイバ	1000mg	生食 210ml	医師の指示通り/ 輸注ポンプ
③ パロノセトロン	0.75mg	生食 100ml	30 分/点滴
デキサート	3.3mg		
④ デキサート	3.3mg	生食 100ml	30 分/点滴
⑤ 生食	500mL		メインルート/点滴
⑥ 生食	50mL		5 分/

【day1】

投与間隔≫ (メインルート /50ml/hr) (側管 30 分) ※ (側管 5 分)

投与順番≫ ⑤ → ④ → ② → ⑥ → 終了

【day2】

投与間隔≫ (メインルート /50ml/hr) (側管 30 分) (側管 60 分) (側管 5 分)

投与順番≫ ⑤ → ③ → ① → ⑥ → 終了

【day3】

投与間隔≫ (メインルート /50ml/hr) (側管 30 分) (側管 60 分) (側管 5 分)

投与順番≫ ⑤ → ④ → ① → ⑥ → 終了

【day8,15】

投与間隔≫ (メインルート /50ml/hr) ※ (側管 5 分)

投与順番≫ ⑤ → ② → ⑥ → 終了

【備考】

② ガザイバ：開始 30 分～1 時間前に、クロルフェニラミン錠 6mg,アセトアミノフェン錠 500mg を服用

※ガザイバ投与速度：(初回：50mg/hr で開始、30 分毎に 50mg/hr ずつ、最大 400mg/hr まで上げることができる。2 回目以降：前回の投与で Grade2 以上の infusion reaction が発現しなかった場合は、100mg/hr で投与を開始し、30 分毎に 100mg/hr ずつ、最大 400mg/hr まで上げることができる。

